



ESET Server Security for Linux V8.1

機能紹介資料

第3版

2021年12月15日

Canon
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

はじめに(本資料について)



本資料はLinuxサーバーOS向けプログラム「ESET Server Security for Linux V8.1」の機能を紹介した資料です。

プログラム名	種別
ESET Server Security for Linux V8.1(略称表記：ESSL)	Linux サーバー用 ウィルス・スパイウェア対策プログラム

- ・ ESET File Security for Linuxから名称が変更になりました。(V7.2以下のプログラムはESET File Security for Linuxの名称のままでです。)
- ・ 本資料で使用している画面イメージは使用するOSにより異なる場合があります。また、今後画面イメージや文言が変更される可能性がございます。
- ・ 上記のプログラムはクラウド型セキュリティ管理ツールであるESET PROTECT Cloud(略称表記：EPC)、オンプレミス型セキュリティ管理ツールである **ESET PROTECT V8.X (略称表記：EP)** または **ESET Security Management Center V7.1 (略称表記：ESMC)** 以降で管理が可能です。 EPC / EP / ESMCの機能紹介は、別資料でご用意しております。
- ・ EPC / EP / ESMCは、法人向けサーバー・クライアント用製品「ESET PROTECTソリューション」をご契約のお客さまのみ利用可能です。
- ・ 「ESET PROTECTソリューション」ではWindows、Mac、Android OS向けのプログラムもご使用いただけます。また、LinuxクライアントOS向けのプログラムもご使用いただけます。
「ESET Server Security for Linux / Windows Server」では、Windows Server OS向けのプログラムもご使用いただけます。各プログラムの機能紹介は別資料でご用意しています。

目次

1. サポート環境
2. Webインターフェースについて
3. 詳細設定について
4. ESSLの仕様について
 - (1)インストールについて
 - (2)Webインターフェースについて
 - (3)アクティベーションについて
5. 旧バージョンとの機能比較



サポート環境

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

1. サポート環境



項目	条件	備考
OS	Red Hat Enterprise Linux 7.X (64bit) Red Hat Enterprise Linux 8.X (64bit) SUSE Linux Enterprise 12 SP1まで (64bit) SUSE Linux Enterprise 15 SP1まで (64bit) CentOS 7.X (64bit) CentOS 8.X (64bit) Amazon Linux 2	Red Hat Enterprise Linux (以降、RHEL) SUSE Linux Enterprise (以降、SUSE)
仮想環境	VMware ESX/ESXi 4.0/4.1 VMware ESX/ESXi 5.0以降 Citrix XenServer 5.6 Windows Server 2008 R2 Hyper-V Windows Server 2012 Hyper-V Windows Server 2012 R2 Hyper-V Windows Server 2016 Hyper-V Windows Server 2019 Hyper-V	仮想化ソフトウェアがOSをサポートしていること
クラウドコンピューティング環境	Amazon Web Services	
CPU	Intel,AMD(64bit)	
メモリ	256MB以上	
ハードディスク	700MB以上	
必要ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">kernel 3.10.0-514 以降または kernel 4.18.0-80 以降のバージョンが導入されていることAWS kernelの場合、kernel 4.14.231-173.361 以降のバージョンが導入されていることglibc 2.17 以降のバージョンが導入されていることelfutils-libelf-devel が導入されていること	<ul style="list-style-type: none">libselinux (RHEL, CentOSのみ必要。最新パッケージをご利用ください)selinux-policy-devel (SELinux有効で利用される場合)elfutils-libelf-devel (RHEL8, CentOS8 のみ必要)
SecureBootへの対応	対応可能	Amazon Linux 2は非対応
その他	UTF-8エンコーディングを使用する任意のロケール	



Webインターフェースについて

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

2. Webインターフェースについて

(1) ダッシュボード

- ダッシュボードから保護状況や検出状況の確認が可能です。また、検出エンジンの手動アップデートやロールバック、アクティベーションなどを行うことが可能です。

■ダッシュボード画面

The screenshot shows the ESET SERVER SECURITY dashboard. The top navigation bar includes links for SERVER SECURITY, HELP, and LOG OUT. The left sidebar contains links for Dashboard, Scan, Search, Events, Firewall, Sent Files, and Feedback. The main content area is titled 'ダッシュボード' (Dashboard) and includes four green status boxes: '保護の状態' (Protection Status) with 'すべてOKです' (All OK), 'モジュールのアップデート' (Module Update) with 'すべてのモジュールは最新です' (All modules are up to date), '製品アップデート' (Product Update) with '製品は最新の状態です' (Product is in the latest state), and 'ライセンス' (License) with 'ライセンスは有効です' (License is valid). Below these are several data cards: '昨日' (Yesterday) showing 1 file removed by on-demand scan, 1 file removed by real-time scan, and 0 files removed by scheduled scan; '方法別の駆除されていない検出' (Unremoved detection by method) showing 1 real-time scan and 0 scheduled scans; '方法別の駆除された検出' (Removed detection by method) showing 1 on-demand scan and 1 real-time scan; and a table for '前回の検出' (Previous detection) with three entries for Eicar. On the right, there are two line charts: 'アクション別の検出' (Detection by action) and '方法別の検出' (Detection by method), both spanning from 8/17/2021 to 9/13/2021.

■ダッシュボード画面(例:保護の状態)

ダッシュボード

 保護の状態

✓ すべてOKです

 モジュールのアップデート

✓ すべてのモジュールは最新です

 製品アップデート

✓ 製品は最新の状態です

 ライセンス

✓ ライセンスは有効です

昨日 昨日 昨日 1時間前 前回のログイン以降

データの更新 データのエクスポート レポートのカスタマイズ

 1	 1	 0	 1
駆除されたオンドマンド検査検出があるファイル	駆除されたリアルタイム検出があるファイル	駆除されていないオンドマンド検査検出があるファイル	駆除されていないリアルタイム検出があるファイル

保護の状態

✓ **リアルタイムファイルシステム保護**
有効 実行中

✓ **ESET LiveGrid® レビューションシステム**
有効

✓ **ESET LiveGrid® フィードバックシステム**
有効

✓ **望ましくない可能性があるアプリケーションの検出**
有効

✓ **リモート検査 - ICAP**
有効

■ダッシュボード画面(例:モジュールのアップデート)



ダッシュボード

保護の状態

すべてOKです

すべてのモジュールは最新です

製品アップデート

最新の状態です

モジュールのアップデート

すべてのモジュールは最新です

ライセンス

ライセンスは有効です

削除されたオンデマンド検査検出があるファイル 1

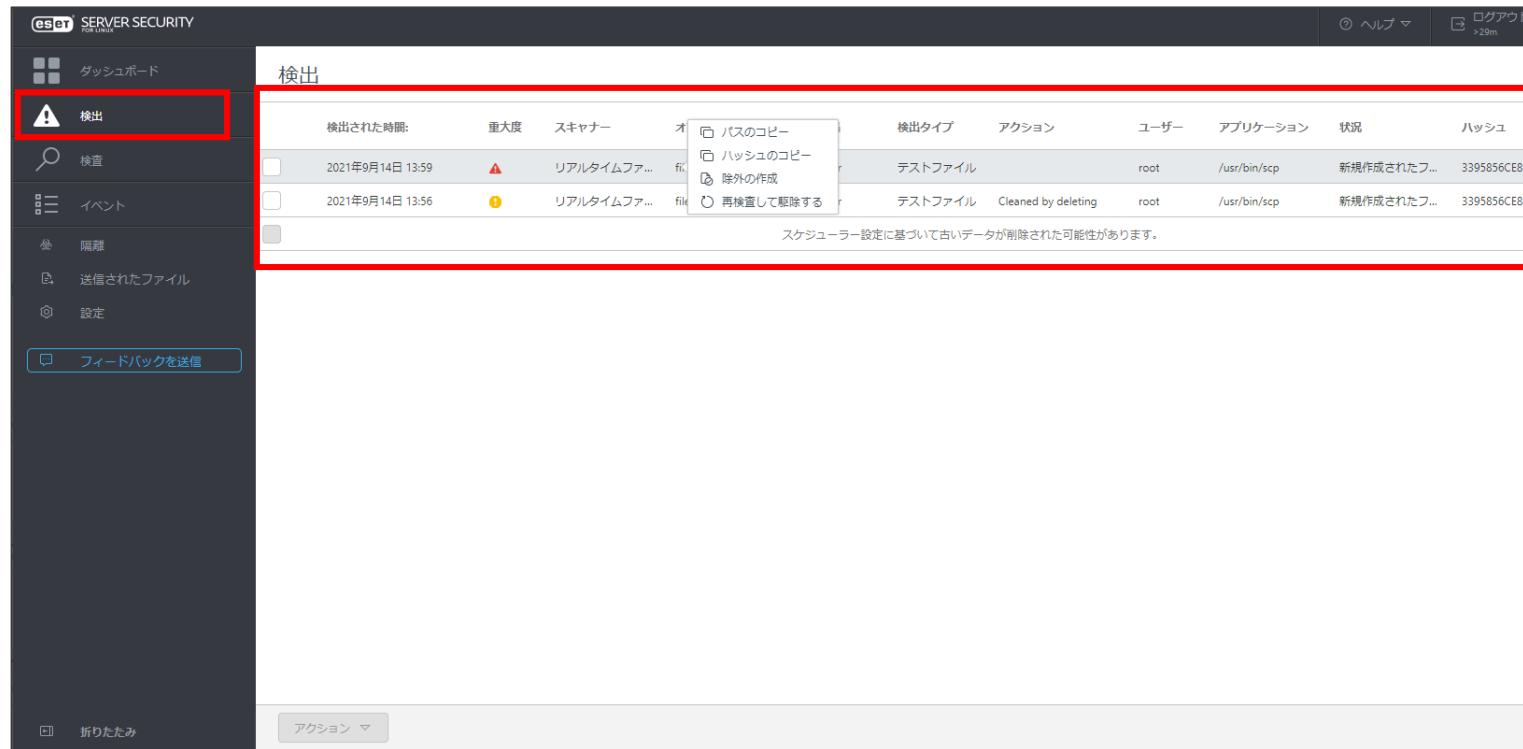
削除されたリアルタイム検出があるファイル 1

2. Webインターフェースについて

(2)検出

- 検出されたすべての脅威とそれらに対して実行されたアクションは、検出画面に記録されます。脅威が検出され駆除されていない場合は行全体が赤色でハイライトされます。検出された悪意があるファイルの駆除を試行するには、特定の行をクリックし、「再検査して駆除する」を選択します。

■検出結果画面



検出された時間	重大度	スキャナー	オプション	検出タイプ	アクション	ユーザー	アプリケーション	状況	ハッシュ
2021年9月14日 13:59	▲	リアルタイムファ...	<input type="checkbox"/> バスのコピー <input type="checkbox"/> ハッシュのコピー <input type="checkbox"/> 除外の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 再検査して駆除する	テストファイル	root	/usr/bin/scp	新規作成されたフ...	3395856CE811...	
2021年9月14日 13:56	●	リアルタイムファ...	<input type="checkbox"/> バスのコピー <input type="checkbox"/> ハッシュのコピー <input type="checkbox"/> 除外の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 再検査して駆除する	テストファイル	Cleaned by deleting	root	/usr/bin/scp	新規作成されたフ...	3395856CE811...

2. Webインターフェースについて



(3)検査

- 手動でのオンデマンド検査が可能です。「すべてのローカルドライブを検査」と「カスタム検査」が選択可能で、「カスタム検査」では、事前に作成したプロファイルに基づいた検査や検査対象を指定した検査が可能です。また、検査結果をクリックすることで詳細情報が確認可能です。

■検査画面

開始時刻	進行状況	検査済み	削除済み	検出されました	時間	トリガー
完了						
2021年9月14日 13:58	Completed	3	1	1	0 秒	root
2021年9月19日 17:00	完了	261	0	0	6 秒	root
2021年8月19日 16:53	完了	2	0	0	0 秒	root
2021年8月19日 16:50	完了	2	0	0	0 秒	root

■検査の詳細画面①

検査されたディスク、フ	オブジェクト
/tmp	検出されました 1 削除済み 1 未検査 0 検査済み 3

■検査の詳細画面②

検出された時間	重大度	オブジェクトURI	検出	検出タイプ	アクション	ハッシュ
2021年9月14日 13:58	1	file:///tmp/eicar.com	Eicar	テストファイル	Cleaned by deleting	3395856CE81F2B7382DE72602...

2. Webインターフェースについて



(4)イベント

- ESSL V8.1のWebインターフェイスで実行される重要なアクション、Webインターフェースへのログインの失敗、ターミナルから実行されるESSL V8.1関連のコマンド、および一部のその他の情報はイベント画面に出力されます。

■イベント画面

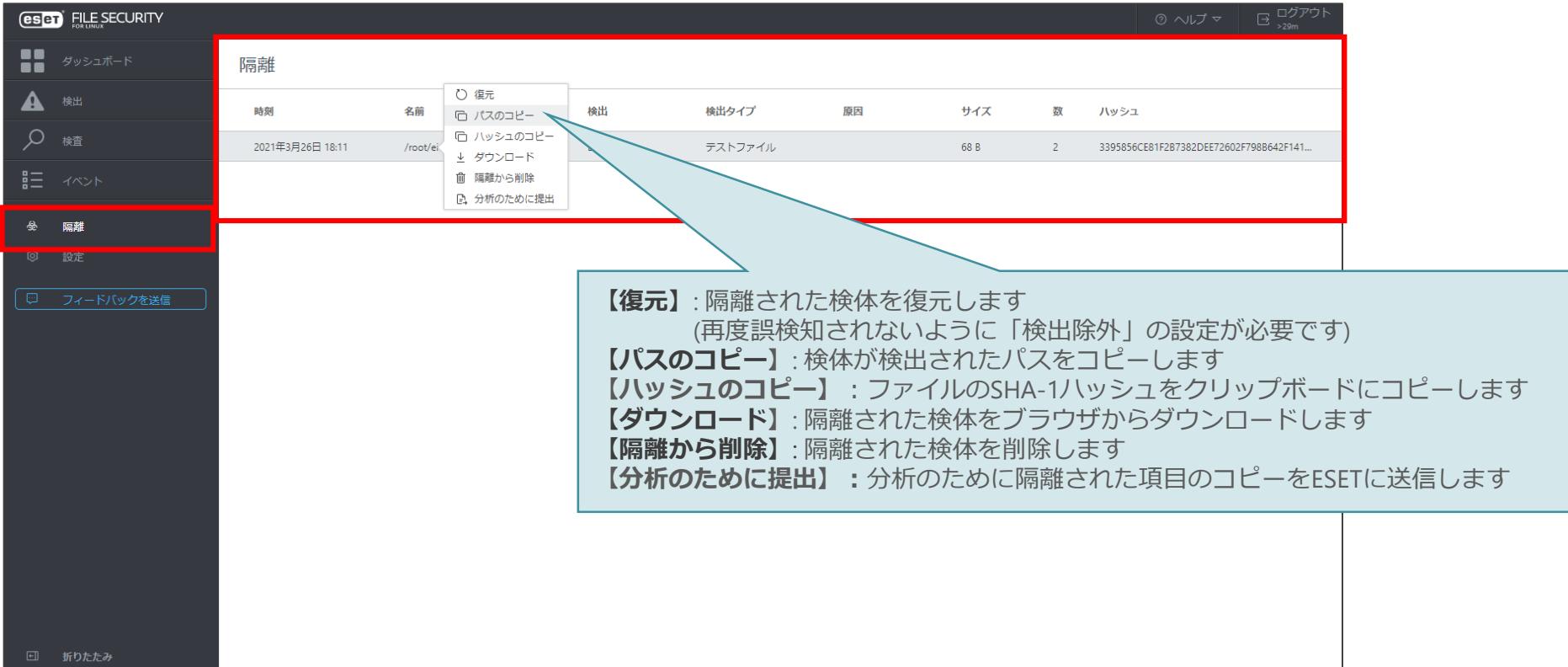
時刻	コンポーネント	イベント	ユーザー
2021年9月14日 13:27	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23958 (20210914)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年9月14日 13:26	ライセンスサービス	ESET Server Security: ライセンス3AA-NNJ-GF4を使用したアクティベーションが成功しました	eset-efs-licensed
2021年9月14日 13:23	検査サービス	ソケットから読み取れませんビアによって接続がリセットされました	eset-efs-scand
2021年9月14日 13:23	検査サービス	ソケットから読み取れませんビアによって接続がリセットされました	eset-efs-scand
2021年9月14日 13:23	ログサービス	ソケットから読み取れませんビアによって接続がリセットされました	eset-efs-logd
2021年9月10日 12:20	更新サービス	ウイルス対策モジュール更新エラー: 認証のアップデートが失敗しました。ライセンスが有効かどうかを確認してください。	eset-efs-updated
2021年9月10日 12:20	更新サービス	ウイルス対策モジュール更新エラー: 認証のアップデートが失敗しました。ライセンスが有効かどうかを確認してください。	eset-efs-updated
2021年8月31日 13:29	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23882 (20210831)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月25日 11:00	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23875 (20210829)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月25日 10:00	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23849 (20210824)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 20:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23824 (20210820)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 17:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23823 (20210819)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 13:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23818 (20210819)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 08:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23817 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 04:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23816 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月19日 03:23	ログサービス	ログ連結および最適化が完了しました	eset-efs-logd
2021年8月19日 03:23	ログサービス	ログ連結および最適化が開始しました	eset-efs-logd
2021年8月19日 00:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23815 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月18日 21:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23814 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月18日 18:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23813 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated
2021年8月18日 13:23	更新サービス	検出エンジンが正常にバージョン23812 (20210818)にアップデートされました。	eset-efs-updated

2. Webインターフェースについて

(5)隔離

- ESSL V8.1によって隔離されたファイルを表示します。隔離された時間やファイルのパス、理由などの確認ができます。隔離されたファイルをクリックすることで、以下のアクションが可能です。

■隔離画面



【復元】: 隔離された検体を復元します
(再度誤検知されないように「検出除外」の設定が必要です)

【パスのコピー】: 検体が検出されたパスをコピーします

【ハッシュのコピー】: ファイルのSHA-1ハッシュをクリップボードにコピーします

【ダウンロード】: 隔離された検体をブラウザからダウンロードします

【隔離から削除】: 隔離された検体を削除します

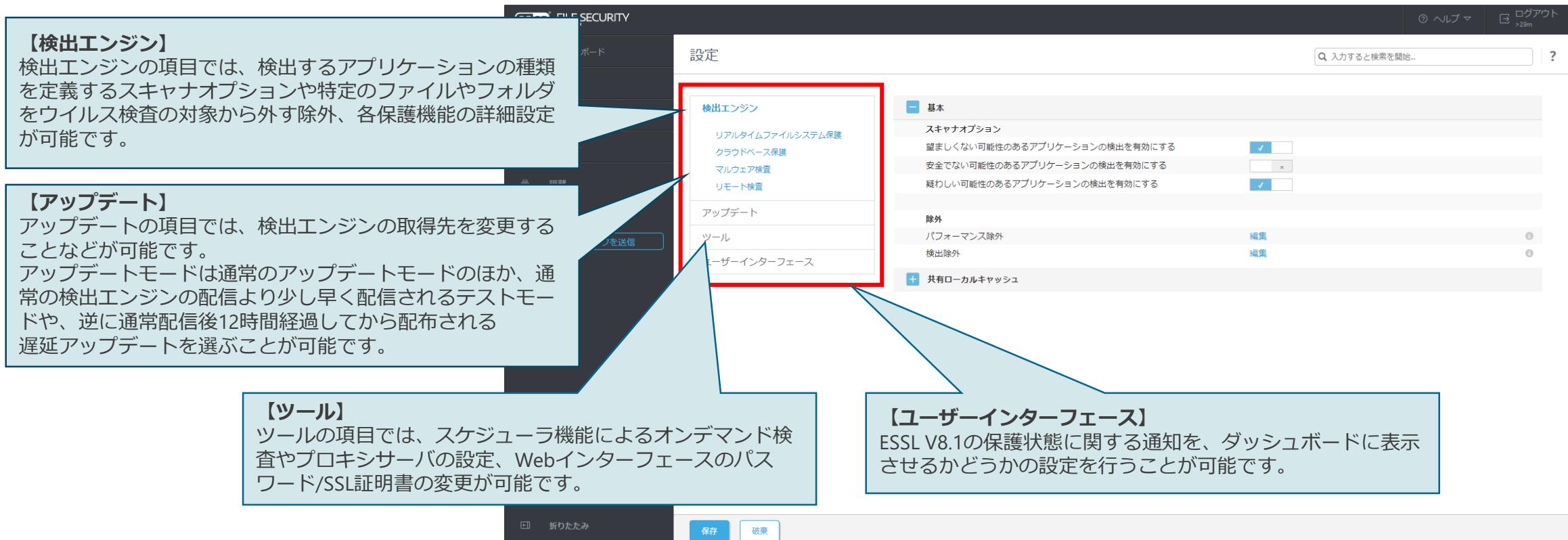
【分析のために提出】: 分析のために隔離された項目のコピーをESETに送信します

2. Webインターフェースについて

(6)設定

- 検出エンジン、アップデート、ツール、ユーザーインターフェースについて設定の確認や変更を行うことが可能です。また、業務を行ううえで一時的にESETの保護機能を変更させたい場合は、Webインターフェースから設定を一時的に有効や無効にすることが可能です。

■ 設定画面



【検出エンジン】
検出エンジンの項目では、検出するアプリケーションの種類を定義するスキャナオプションや特定のファイルやフォルダをウィルス検査の対象から外す除外、各保護機能の詳細設定が可能です。

【アップデート】
アップデートの項目では、検出エンジンの取得先を変更することなどが可能です。
アップデートモードは通常のアップデートモードのほか、通常の検出エンジンの配信より少し早く配信されるテストモードや、逆に通常配信後12時間経過してから配布される遅延アップデートを選ぶことが可能です。

【ツール】
ツールの項目では、スケジューラ機能によるオンデマンド検査やプロキシサーバの設定、Webインターフェースのパスワード/SSL証明書の変更が可能です。

【ユーザーインターフェース】
ESSL V8.1の保護状態に関する通知を、ダッシュボードに表示させるかどうかの設定を行うことが可能です。



詳細設定について

Canon

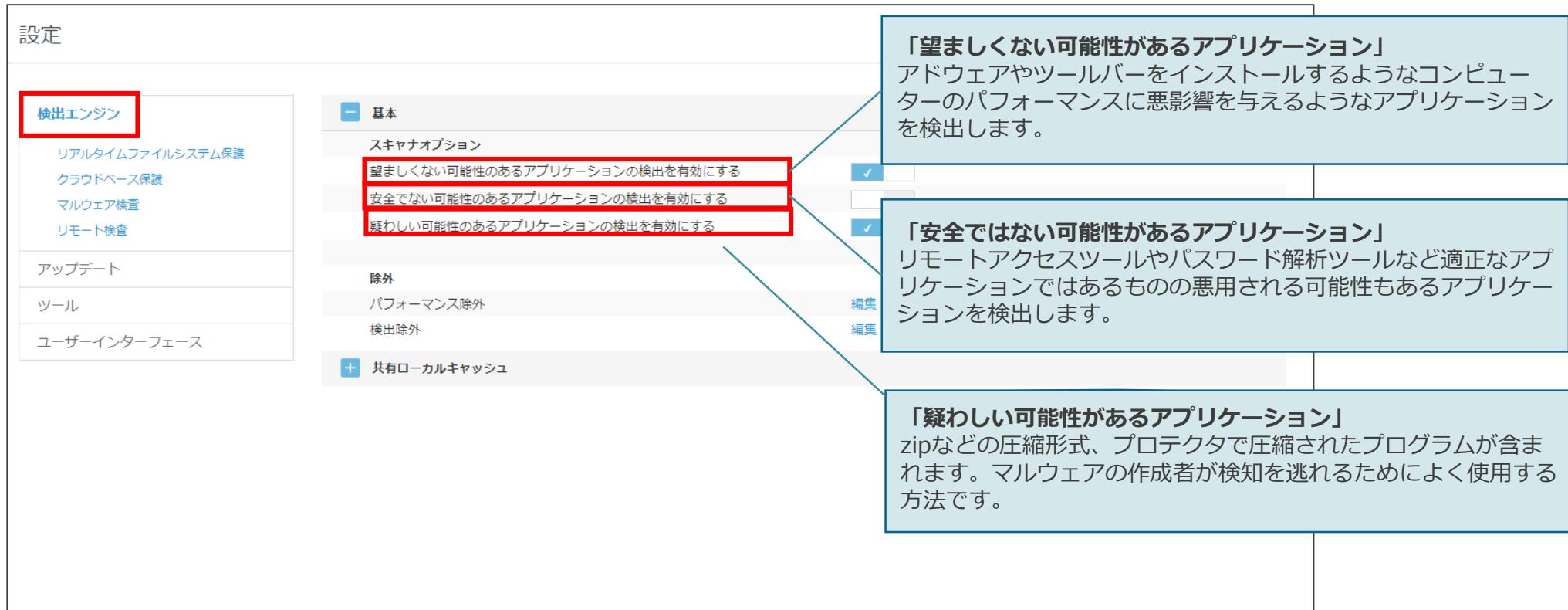
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

3. 詳細設定について

(1)検出エンジン

- 検出エンジンの項目では、コンピューターのパフォーマンスを低下させる恐れのあるアプリケーションや不正利用される可能性のあるアプリケーションを検出させるかどうかを設定することなどが可能です。

■検出エンジン設定画面

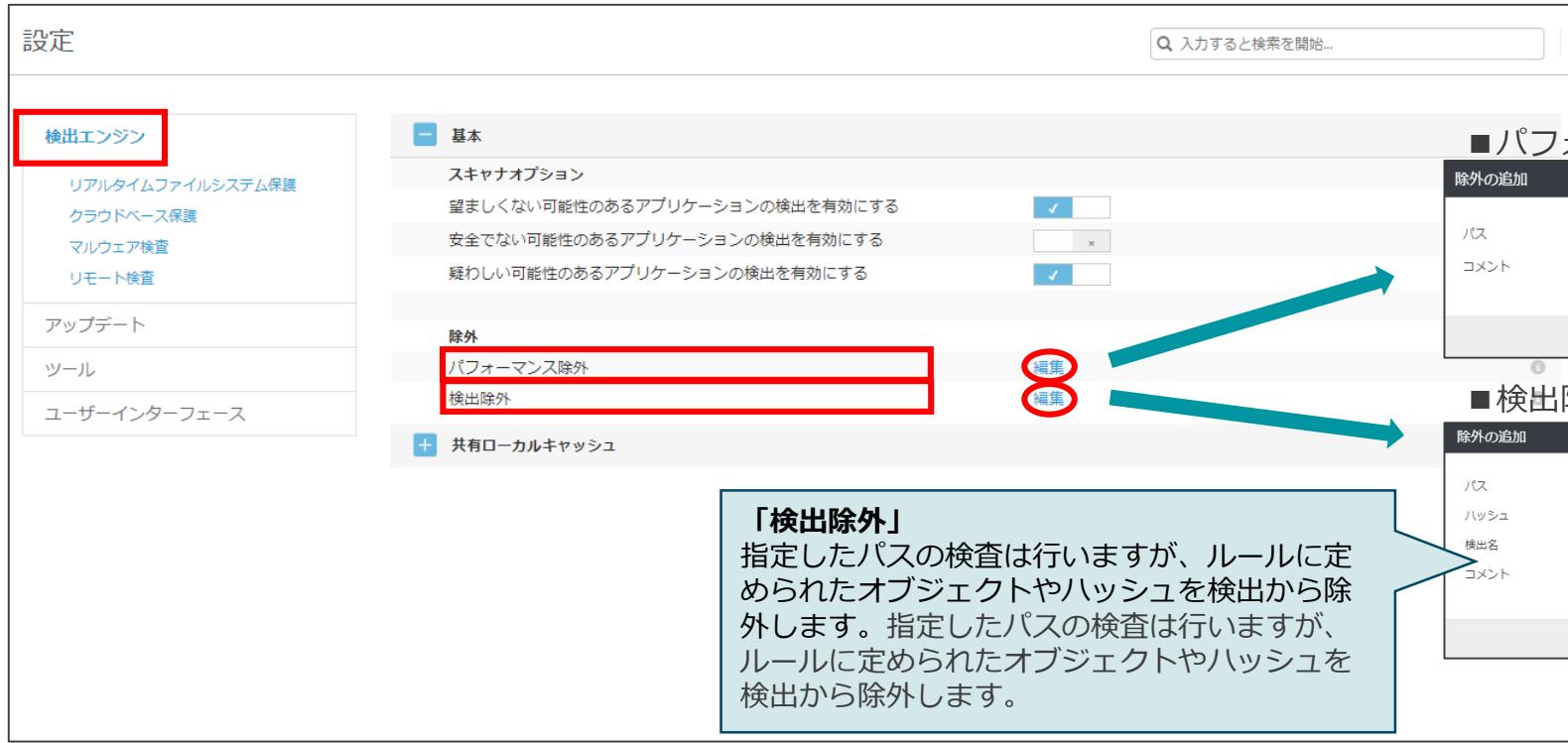


3. 詳細設定について

(2)除外

- 除外の設定を行うことで、特定のファイルやフォルダをウイルス検査の対象から外すことが可能です。パス、ハッシュ値、検出名で除外設定を行えます。独自開発したアプリケーションやデータベースなどを除外の対象とすることで、誤検知やデータベースなどを検査した際のCPU使用率の上昇を防ぐことが可能です。

■検出エンジン設定画面



検出エンジン

検出除外

パフォーマンス除外

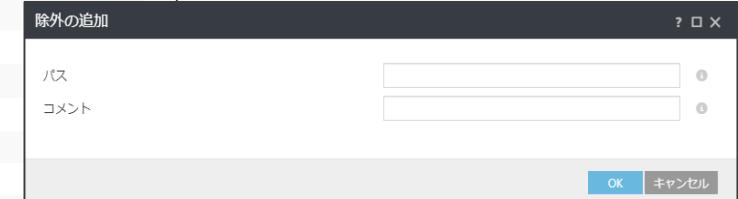
「検出除外」

指定したパスの検査は行いますが、ルールに定められたオブジェクトやハッシュを検出から除外します。指定したパスの検査は行いますが、ルールに定められたオブジェクトやハッシュを検出から除外します。

「パフォーマンス除外」

特定のファイルやフォルダを検査対象から除外することができます。特定のファイルやフォルダを検査対象から除外することができます。

■パフォーマンス除外設定画面

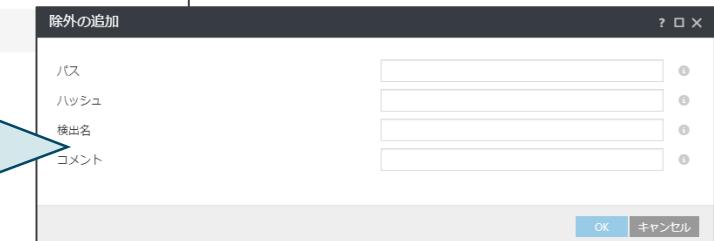


パス

コメント

OK キャンセル

■検出除外設定画面



除外の追加

パス

ハッシュ

検出名

コメント

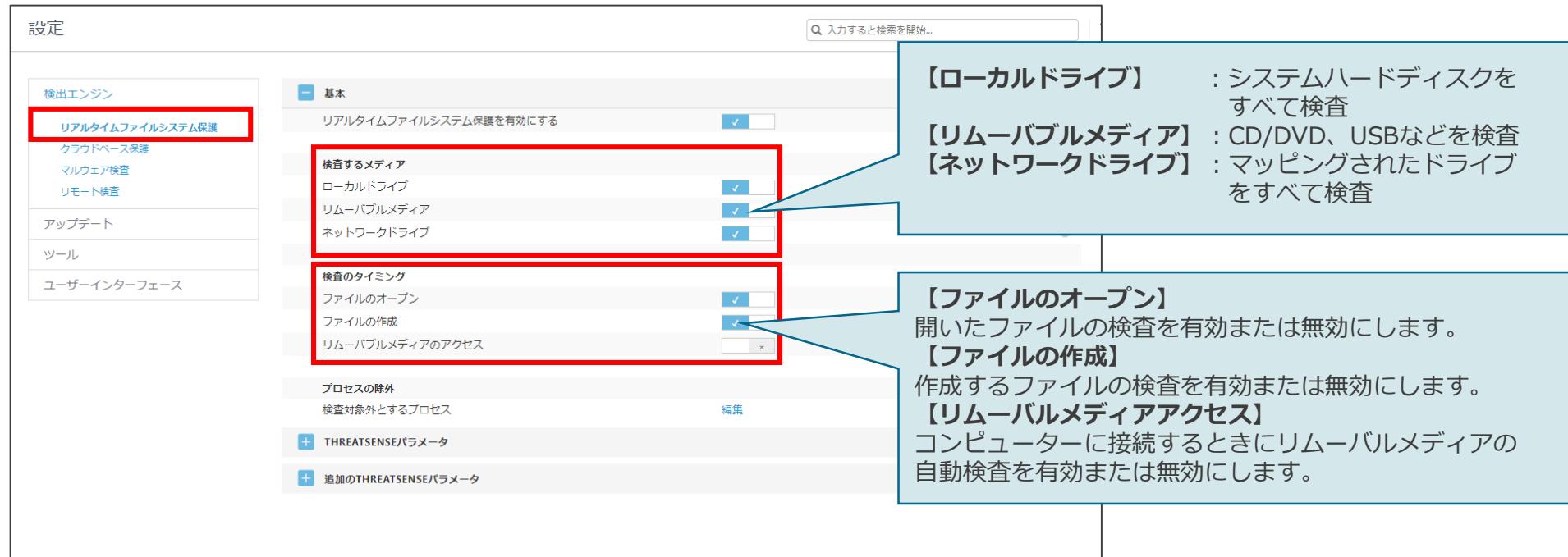
OK キャンセル

3. 詳細設定について

(3) リアルタイムファイルシステム保護

- リアルタイムファイルシステム保護を使用すると、ファイルのオープン時や作成時、また実行時に検査を行うことが可能です。リアルタイムファイルシステム保護はシステム起動時に開始され、中断することなく常に端末を保護します。

■ リアルタイムファイルシステム保護設定画面



※以下のKernelのバージョンが揃っていない場合、リアルタイムファイルシステム保護は有効にできません。

■ RHEL / CentOSの場合 : Kernel, kernel-devel, kernel-headers ■ SUSEの場合 : kernel-default, kernel-default-devel, kernel-devel, kernel-macros

3. 詳細設定について

(4) クラウドベース保護

- ESET LiveGrid®に参加すると、クラウドシステムにより実行中のプロセスの全世界における使用状況が共有されます。これにより実行中のプロセスのリスクレベルを確認できます。ESET LiveGrid®に不審なファイルを送付すると、送付されたファイルはESET LiveGrid®により解析されます。これは新たな脅威からESETユーザーを守ることにつながります。

■ クラウドベース保護設定画面



3. 詳細設定について

(5) マルウェア検査

- マルウェア検査では、オンデマンド検査の詳細設定を行うことが可能です。検査の対象やウイルス発見時のアクションを設定できます。オンデマンド検査に使用するプロファイルの作成や、システム起動時に実施されるスタートアップ検査の設定が可能です。

■ マルウェア検査設定画面



【選択されたプロファイル】
編集するオンデマンド検査用のプロファイルを選択します。
【プロファイルのリスト】
「編集」ボタンから、新たにオンデマンド検査用のプロファイルを作成することができます。

【ブートセクタ/UEFI】
UEFIスキャナーは、HIPSの一部であり、コンピューターのUEFIを保護します。UEFIはブートプロセスの最初にメモリに読み込まれるファームウェアです。UEFIスキャナーにより、UEFIに感染しシステムを制御するマルウェアの検出が可能です。

3. 詳細設定について

(6) アップデート

- アップデートでは、検出エンジンの取得先を変更することなどが可能です。アップデート先としてプライマリサーバー、セカンダリサーバーを設定することによってアップデート先の冗長化が可能です。

■ アップデート詳細設定画面



【モジュールロールバック】
検出エンジンのアップデートにより問題が起きた場合にロールバックすることができます。既定では、1つのスナップショットを保存します。

【製品アップデート】
プログラムコンポーネントアップデート(PCU)を使用して、自動で最新バージョンへバージョンアップすることができます。
※ バージョンアップ先のプログラムによっては、手動でのバージョンアップが必要な場合があります。

■ プライマリサーバー設定画面



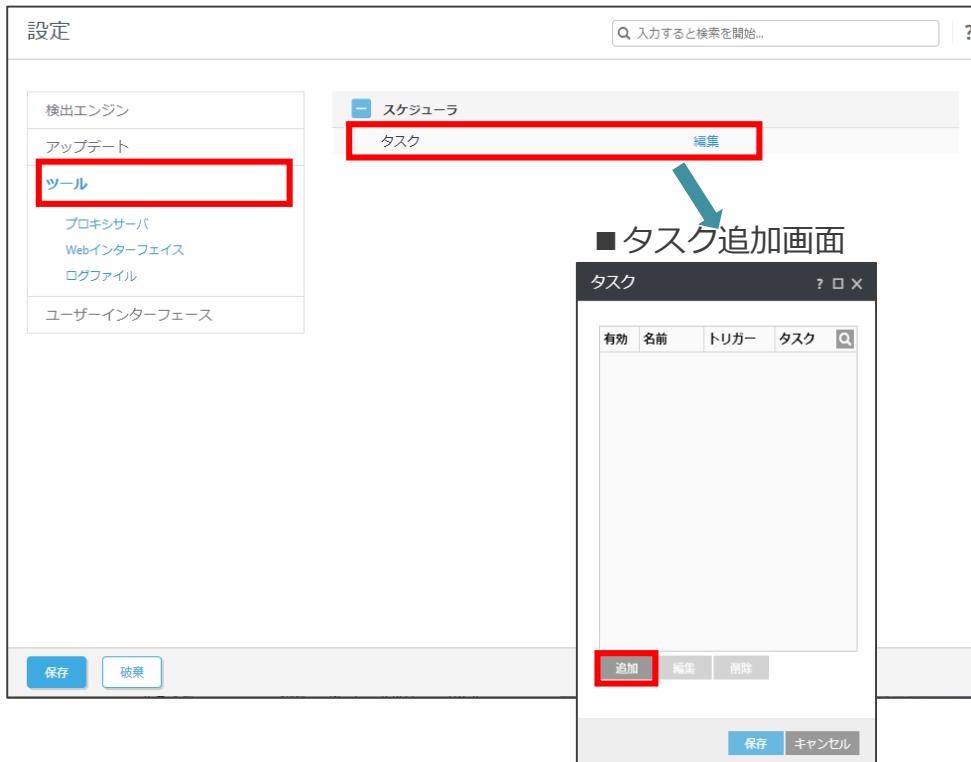
任意のアップデートサーバーを設定可能です。
・自動選択 : オフ
(オンの場合はESET社のサーバーからアップデートを行います)
・アップデートサーバー : (例)http://192.168.1.1:2221

3. 詳細設定について

(7) ツール

- スケジューラ機能により、定期的なオンデマンド検査が可能です。オンデマンド検査に用いる検査プロファイルは、事前に作成した任意のプロファイルを使用することが可能です。また、検査の対象やウィルス検知時のアクションなども設定可能です。

■ツール設定画面



■オンデマンド検査スケジューラ設定画面①



任意のタスク名と時刻を設定し、オンデマンド検査が自動的にトリガーされる曜日を選択します。

・任意の検査プロファイル
・検査の対象、
・オプション(検査して駆除、検査除外)を選択して、「完了」ボタンをクリックします。

■オンデマンド検査スケジューラ設定画面②



3. 詳細設定について

(8) プロキシサーバ

- 検出エンジンのアップデートやESETのウイルス対策プログラムのアクティベーション(認証)をインターネット経由で行う場合、インターネットに接続する際にプロキシサーバを経由している環境では、プロキシサーバの設定を行う必要があります。

■ プロキシサーバ設定画面

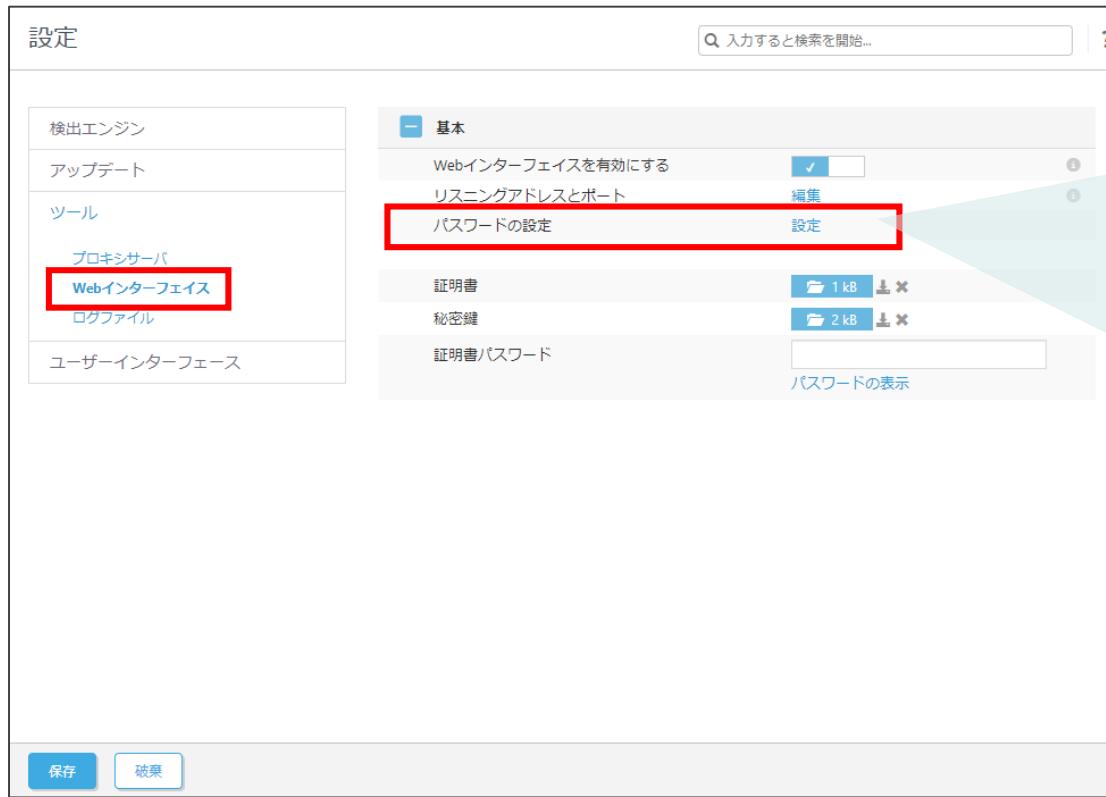


3. 詳細設定について

(9) Webインターフェース

- WebインターフェースではESSL V7.2のインストール直後に自動生成されたWebインターフェースのログインパスワードから任意のパスワードに変更できます。また、WebインターフェースのSSL証明書の設定が可能です。

■Webインターフェース設定画面



■パスワード設定画面



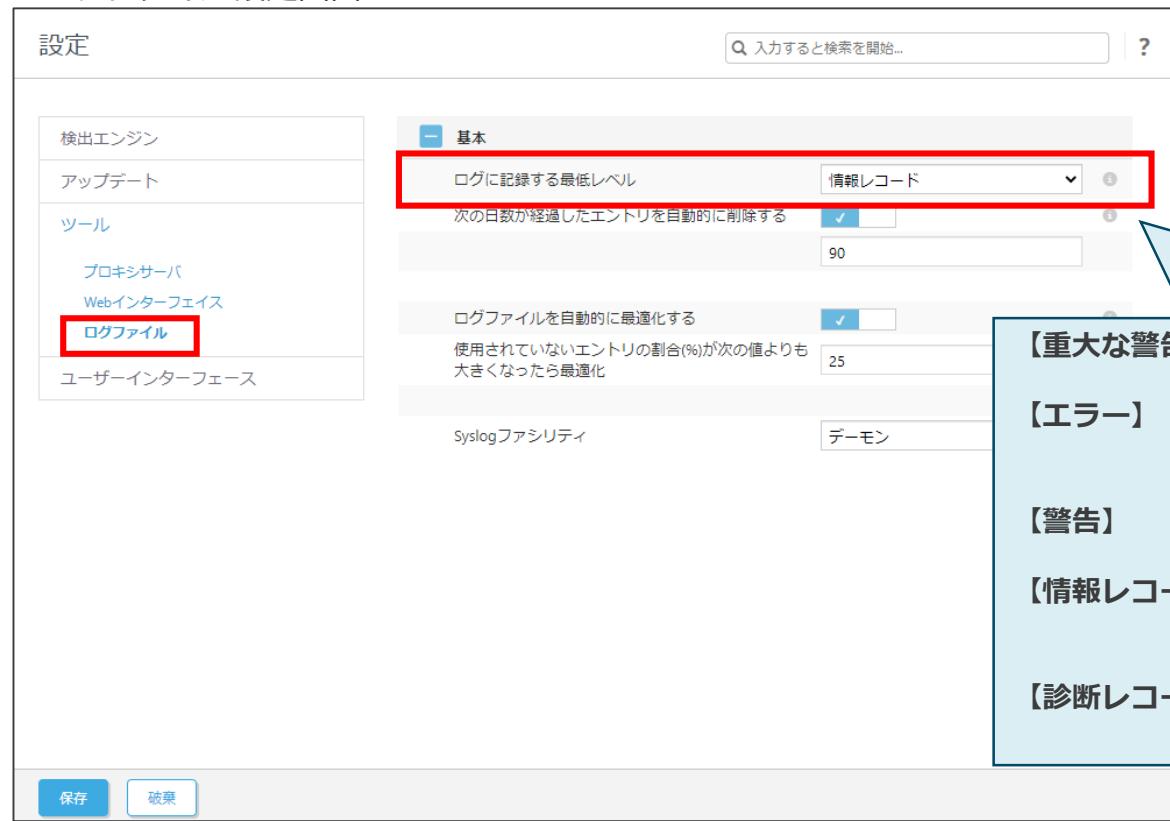
【パスワードの設定】を選択し、新しいパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

3. 詳細設定について

(10) ログファイル

- ログに記録する最低レベルやログローテーションの設定、Syslogにログを出力する場合はSyslogファシリティの設定が可能です。

■ ログファイル設定画面



【重大な警告】 : 重大なエラー(ウイルス対策の起動に失敗したなど)が含まれます。

【エラー】 : 「ファイルのダウンロード中にエラーが発生しました」といったエラーや重大な警告が記録されます。

【警告】 : 重大なエラーと警告メッセージとエラーが記録されます。

【情報レコード】 : アップデートの成功メッセージを含むすべての情報メッセージと上記のすべてのレコードが記録されます。

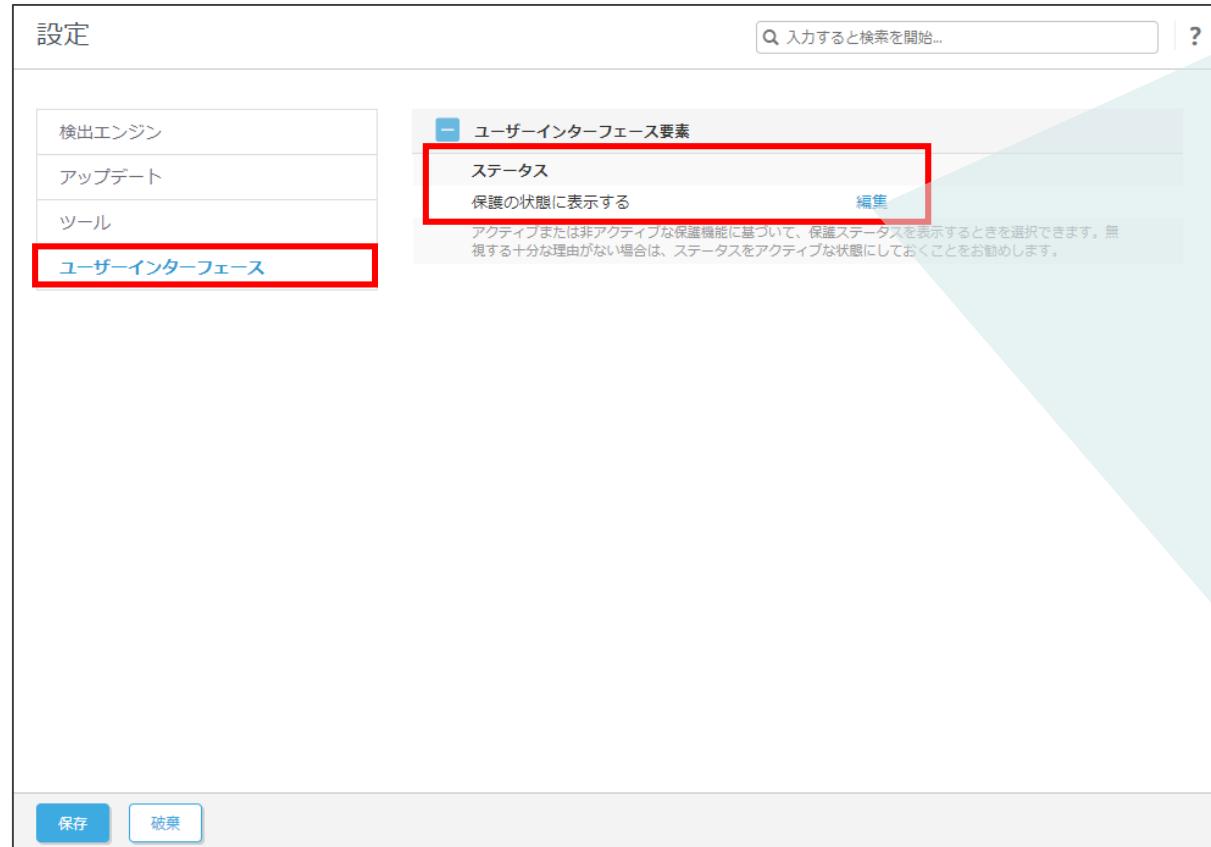
【診断レコード】 : プログラムおよび上記のすべてのレコードを微調整するのに必要な情報が含まれます。

3. 詳細設定について

(11) ユーザーアンターフェース

- ESSL V8.1の保護状態に関する通知を、ダッシュボードに表示させるかどうかの設定を行うことができます。

■ ユーザーアンターフェース要素画面



■ ステータス設定画面



3. 詳細設定について



(参考)コマンドラインベースの操作

- ESSL V8.1では、ターミナルウィンドウからも以下の操作が可能です。各オプションの詳細については、以下のコマンド内の[OPTIONS]部分に「-h」を入力することで確認可能です。

- ・**オンデマンド検査**

```
/opt/eset/efs/bin/odscan [OPTIONS]
```

- ・**製品モジュールをアップデート**

```
/opt/eset/efs/bin/upd [OPTIONS]
```

- ・**隔離された項目の管理**

```
/opt/eset/efs/bin/quar [OPTIONS]
```

- ・**イベント画面の内容を表示**

```
/opt/eset/efs/bin/lslog [OPTIONS]
```

- ・**設定のエクスポート**

```
/opt/eset/efs/sbin/cfg --export-xml=/tmp/export.xml
```

- ・**設定のインポート**

```
/opt/eset/efs/sbin/cfg --import-xml=/tmp/export.xml
```

【コマンド例】

- ・ディレクトリ「/root/exc_dir」を除外してオンデマンド検査を実行

```
/opt/eset/efs/bin/odscan --scan --exclude=/root/exc_dir
```

- ・任意のミラーサーバーからのアップデート

```
/opt/eset/efs/bin/upd --update --server=192.168.1.2:2221
```

- ・隔離された項目を一覧表示

```
/opt/eset/efs/bin/quar -l
```

- ・すべてのイベントログを出力する

```
/opt/eset/efs/bin/lslog -e
```



ESSLの仕様について

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

4. ESSLの仕様について



(1)インストールについて

- ESSL V8.1ではインストールの際、OSのオンラインリポジトリに接続できる場合はインストール時に不足パッケージを同時に導入する仕様になっています。
- すでにEFSL V4.5がインストールされている場合は、EFSL V4.5をアンインストール後にESSL V8.1をインストールします。上書きインストールによるバージョンアップはできません。
- EFSL V7.2からの上書きインストールによるバージョンアップは可能です。
- ESSL V8.1では以下のディストリビューションでSELinuxがサポートされています。SELinuxを有効にした状態でESSL V8.1を使用するには、「selinux-policy-devel」パッケージをインストールする必要があります。
 - **Red Hat Enterprise Linux 7.X (64bit)**
 - **Red Hat Enterprise Linux 8.X (64bit)**
 - **CentOS 7.X (64bit)**
 - **CentOS 8.X (64bit)**
- ELREPOカーネルを使用したLinuxディストリビューションはサポートされておりません。

※インストールにはroot権限(スーパーユーザー)が必要です。

4. ESSLの仕様について



(2)ダッシュボードについて

- ESSL V8.1のダッシュボードはEFSL V7.2と比較して、脅威の検出情報が表示できるようになりました。

■EFSL V7.2のダッシュボード



ESSL FILE SECURITY FOR LINUX

ダッシュボード

保護の状態
すべてOKです

モジュールのアップデート
すべてのモジュールは最新です

製品アップデート
✓

ライセンス
ライセンスは有効です

検出

検査

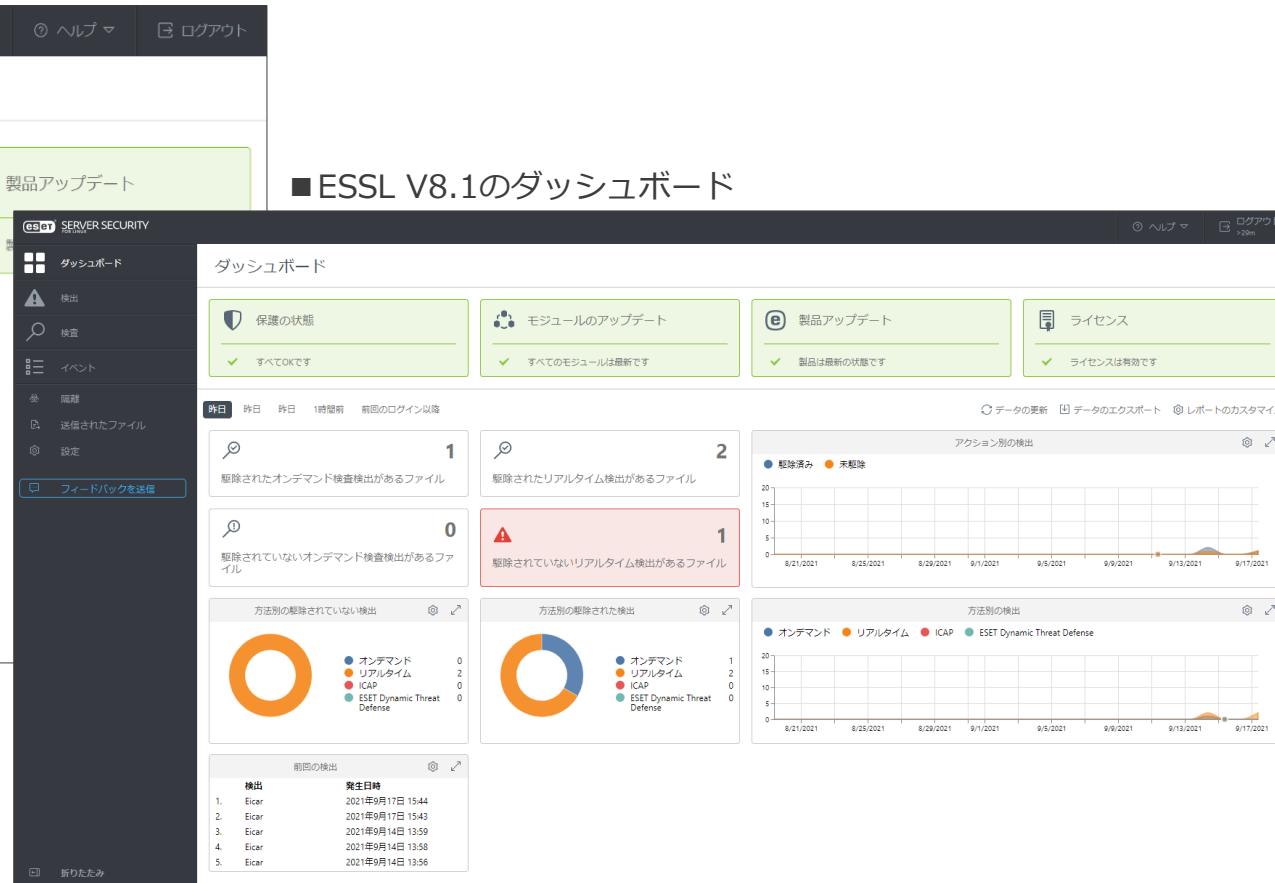
イベント

隔離

設定

フィードバックを送信

折りたたみ



■ESSL V8.1のダッシュボード

ダッシュボード

保護の状態
すべてOKです

モジュールのアップデート
すべてのモジュールは最新です

製品アップデート
製品は最新の状態です

ライセンス
ライセンスは有効です

検出

検査

イベント

隔離

送信されたファイル

設定

フィードバックを送信

昨日 昨日 1時間前 前回のログイン以降

1
削除されたオンドemand検出があるファイル

2
削除されたリアルタイム検出があるファイル

0
削除されていないオンドemand検出があるファイル

1
削除されていないリアルタイム検出があるファイル

方法別の削除されていない検出

方法別の削除された検出

アクション別の検出

折りたたみ

データの更新 データのエクスポート レポートのカスタマイズ

アクション別の検出

方法別の検出

前回の検出

検出

発生日時

1. Eicar 2021年9月17日 15:44

2. Eicar 2021年9月17日 15:43

3. Eicar 2021年9月14日 13:59

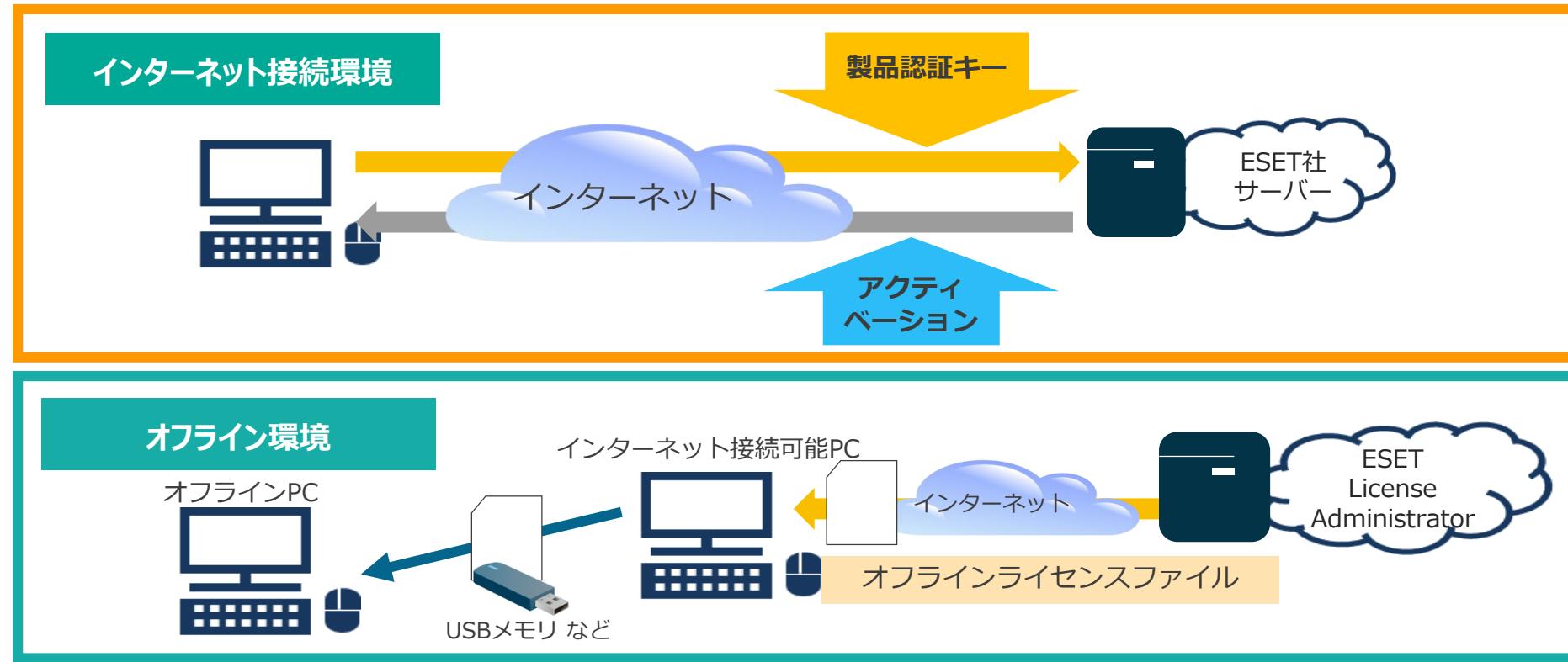
4. Eicar 2021年9月14日 13:58

5. Eicar 2021年9月14日 13:56

4. ESSLの仕様について

(3) アクティベーション①

- アクティベーションとは、製品を利用するためには必要な認証作業です。ESSL V8.1インストール後に**製品認証キー**または**オフラインライセンスファイル**を使用したアクティベーション(認証)作業が必要となります。



4. ESSLの仕様について

(3) アクティベーション②

- Webインターフェースの「ダッシュボード」からアクティベーションが可能です。「ESET Endpoint Protection シリーズ」の管理用プログラムであるEPCやEP、ESMCなどのセキュリティ管理ツールでESSL V8.1の管理を行っている場合は、セキュリティ管理ツールのタスクを使用してアクティベーションを行うことが可能です。

■ アクティベーション前のアラート画面



■ アクティベーション完了後の画面



※アクティベーションを行わないと検出エンジンのアップデートができません。



旧バージョンとの機能比較

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

5. 旧バージョンとの機能比較



機能比較表①

ウイルス・スパイウェア対策			
機能名	EFSL V4.5	EFSL V7.2	ESSL V8.1
オンデマンド検査	○	○	○
リアルタイム検査	○	○	○
UEFIスキャナー	×	○	○
除外機能	○	○	○
共有ローカルキャッシュ	×	○	○
ESET LiveGrid	○	○	○
検出エンジンの更新およびミラーサーバ機能			
機能名	EFSL V4.5	EFSL V7.2	ESSL V8.1
検出エンジンのアップデート	○	○	○
検出エンジンの遅延アップデート	○	○	○
検出エンジンのロールバック機能	×	○	○
ミラーサーバー機能	○	○	○
アップデート先の冗長化	×	○	○

5. 旧バージョンとの機能比較



機能比較表②

運用関連機能			
機能名	EFSL V4.5	EFSL V7.2	ESSL V8.1
Syslogへの出力	○	○	○
コマンドラインインターフェース	○	○	○
設定のインポート、エクスポート	○	○	○
Webインターフェースでの設定	○	○	○
ダッシュボードのステータス表示設定	×	×	○
ESMC V7.Xとの連携	○	○※	○※
EP V8.Xとの連携	×	○	○
統計表示(検出状況など)	○	○	○
その他の機能			
機能名	EFSL V4.5	EFSL V7.2	ESSL V8.1
リムーバブルメディアの検査	×	○	○
スケジューラ機能	○	○	○
アクティベーションの必要性の有無	×	○	○
SELinuxのサポート	×	○	○

※ESMC V7.1以降でのみ管理可能です。